

# 「新型コロナウイルスが皮膚科生物学的製剤治療に与えた影響」に関する研究 のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2021年 6月 22日～ 2026年 3月 31日

## 〔研究課題〕

新型コロナウイルス感染症の流行が皮膚科の生物学的製剤投与患者の診療に与えた影響の検討

## 〔研究目的〕

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症の流行が、皮膚科において生物学的製剤を使用している患者様の医療機関受診状況に与えた影響について調査を行います。

## 〔研究意義〕

新型コロナウイルス感染症の流行により、医療機関へ受診控えが報告されています。当院皮膚科において、生物学的製剤を使用中の患者様の受診状況を調査することで、コロナ禍における医療の提供度合を調べ、より良い医療へ繋がります。

## 〔対象・研究方法〕

乾癬、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、化膿性汗腺炎、皮膚悪性腫瘍の患者様のうち、当院にて生物学的製剤を使用している方、各生物学的製剤約100名ずつを対象とすることを予定しています。新型コロナウイルス感染症の流行前の2010～2019年と流行後の2020年以降～2021年6月22日までの生物学的製剤の導入数、中止数、受診控え、特例電話再診の利用になどについてカルテ記載から情報を収集します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部皮膚科学講座  
責任者：主任教授 多田弥生

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者様が特定されることはありません。データの保管は研究終了後、帝京大学臨床研究センターにて10年間とし、その後は破棄を行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者：臨床助手 内田秀昭、准教授 鎌田昌洋、講師 石川武子、講師 田中隆光、

助手 林耕太郎、臨床助手 深谷早希、員外助手 長田麻友美

所属： 帝京大学医学部附属病院

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211

(代表) [内線 32610]